



## 平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社  
コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 信太 明  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 坂田 崇典

TEL 03-5803-2727

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年5月期第2四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	1,237	△4.0	△82	—	△83	—	△99	—
22年5月期第2四半期	1,288	△44.8	△104	—	△104	—	△47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	△1,373.08	—
22年5月期第2四半期	△661.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	1,253	973	77.4	13,406.35
22年5月期	1,479	1,098	74.2	15,157.33

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 970百万円 22年5月期 1,097百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	300.00	300.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期(予想)	—	—	—	300.00	300.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,621	△5.0	51	—	50	—	19	—	272.18

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有  
新規 1社（社名 AUN Global Marketing Pte.Ltd. ）、除外 1社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年5月期2Q	72,428株	22年5月期	72,428株
② 期末自己株式数	23年5月期2Q	—株	22年5月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年5月期2Q	72,428株	22年5月期2Q	72,428株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
【第2四半期連結累計期間】	P. 7
【第2四半期連結会計期間】	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12
4. 補足情報	P. 13
生産、受注及び販売の状況	P. 13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年6月1日～平成22年11月30日）におけるわが国経済は、政府による経済支援政策等により景況感に持ち直しの動きが見られたものの、失業率が高水準で推移し、足元の環境は依然として厳しい状況であります。

このような状況のもとで、当社グループは事業構造の転換と事業領域の拡大を重要な経営課題と認識し、検索エンジンマーケティング（以下、「SEM」）領域から、グローバルコンサルティング領域へと事業を拡大し、様々な施策を積極的に展開してまいりました。

まず、国内におけるSEM領域においては、付加価値の高いサービスを提供すべく運営及び販売を推進してまいりました。グローバルコンサルティング領域においては、グローバルマーケティング関連のサービスラインナップの拡充をはかり、デジタル・ワールド調査最大手のコムスコア・ジャパン社と提携し、プロモーションのコンサルティングにおいて、同社の計測ツールを活用したサービスを開始いたしました。

次に、海外においては、外国人向け観光情報Webサイト「Visit First」での広告販売を中心に積極的に営業活動を展開いたしました。平成22年9月1日に設立した香港拠点である亜文香港營銷事業股份有限公司や韓国拠点のAUN Korea Marketing, INC. も営業拠点として機能し、着実に成果を上げ始めております。また、平成22年11月1日には、5箇所目となるAUN Global Marketing Pte.Ltd. をシンガポールに設立し、海外拠点の中核とするべく、統括機能体制の構築を行っております。広告販売枠獲得のための営業活動を強化するために、各拠点向けの「Visit First」も新たにオープンし、さらなるコンテンツの充実を図ってまいります。直近の新しいサービスとしては「VFクーポン」を開始し、順調に契約数も推移しており、サイト利用者にとってもメリットのある内容を引き続き拡大してまいります。

こうした国内外での取り組みにより、売上に関しては、前年同期と比べ若干の減収となりましたが、概ね計画通り推移しております。また、利益面に関しては、一層の経費圧縮に努めた結果、前年同期に比べ営業損益においては損益幅が改善しましたが、国内において、高付加価値サービスへの転換の遅れが影響し、計画に対して若干下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,237百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は82百万円（前年同期は営業損失104百万円）、経常損失は83百万円（前年同期は経常損失104百万円）、四半期純損失は99百万円（前年同期は四半期純損失47百万円）となりました。

なお、セグメントの業績については、クリエイティブ事業を担っていた当社連結子会社が、平成22年8月31日をもって連結対象から外れ、当第2四半期よりマーケティング事業のみの単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.4%減少し、1,056百万円となりました。これは、主に配当金の支払による現預金の減少、売掛金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、197百万円となりました。これは、主に無形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて24.1%減少し、275百万円となりました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて70.6%減少し、5百万円となりました。これは、主に退職給付引当金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11.4%減少し、973百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の四半期末残高は713百万円となりました。当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、63百万円(前年同期は145百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失99百万円、減価償却費11百万円、子会社株式売却損16百万円、法人税等の還付額12百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、53百万円(前年同期は70百万円の支出)となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出49百万円、無形固定資産の取得による支出23百万円、敷金保証金の回収による収入15百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、22百万円(前年同期は66百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額22百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成22年8月17日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年11月1日付でAUN Global Marketing Pte.Ltd. をシンガポール共和国に設立し、連結子会社としております。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

##### ①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の連結財務諸表への影響は軽微であります。

##### ②「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日）、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

#### 2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	713,324	858,762
受取手形及び売掛金	288,801	366,010
仕掛品	206	10,574
未収還付法人税等	—	13,834
繰延税金資産	21,844	22,101
その他	32,751	26,904
貸倒引当金	△276	△3,456
流動資産合計	1,056,651	1,294,731
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,392	18,423
減価償却累計額	△4,891	△3,379
建物(純額)	13,501	15,044
工具、器具及び備品	40,904	40,624
減価償却累計額	△24,032	△20,999
工具、器具及び備品(純額)	16,871	19,624
有形固定資産合計	30,373	34,668
無形固定資産		
のれん	2,949	—
ソフトウェア	41,876	24,836
無形固定資産合計	44,825	24,836
投資その他の資産		
投資有価証券	39,878	43,423
敷金及び保証金	65,219	79,729
その他	16,951	1,833
投資その他の資産合計	122,049	124,985
固定資産合計	197,247	184,491
資産合計	1,253,899	1,479,222

アウンコンサルティング(株)(2459)  
平成23年5月期 第2四半期決算短信

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	197,857	252,459
未払費用	35,613	48,661
未払法人税等	1,187	558
未払消費税等	10,005	—
前受金	11,545	22,755
受注損失引当金	—	53
その他	19,089	38,350
流動負債合計	275,298	362,839
固定負債		
退職給付引当金	—	12,194
その他	5,342	5,999
固定負債合計	5,342	18,194
負債合計	280,640	381,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	339,576
資本剰余金	470,576	470,576
利益剰余金	167,465	288,643
株主資本合計	977,617	1,098,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,276	△878
為替換算調整勘定	△5,345	△101
評価・換算差額等合計	△6,622	△980
少数株主持分	2,263	374
純資産合計	973,259	1,098,189
負債純資産合計	1,253,899	1,479,222

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
売上高	1,288,281	1,237,055
売上原価	1,020,126	1,027,581
売上総利益	268,155	209,473
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	372,981	292,290
営業損失(△)	△104,826	△82,817
営業外収益		
受取利息	308	339
還付加算金	3,115	579
解約手数料等	—	1,069
未利用チケット収入	1,134	—
未払配当金除斥益	—	684
その他	166	746
営業外収益合計	4,724	3,419
営業外費用		
支払利息	1,245	111
為替差損	806	2,065
投資有価証券評価損	1,649	1,529
その他	584	21
営業外費用合計	4,284	3,728
経常損失(△)	△104,387	△83,126
特別利益		
貸倒引当金戻入額	771	—
移転補償金	82,551	—
特別利益合計	83,323	—
特別損失		
固定資産除却損	549	—
事務所移転費用	18,867	—
子会社株式売却損	—	16,057
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	705
特別損失合計	19,417	16,763
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,481	△99,889
法人税、住民税及び事業税	359	290
法人税等還付税額	△377	—
法人税等調整額	13,879	256
法人税等合計	13,861	547
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△100,437
少数株主損失(△)	△6,429	△987
四半期純損失(△)	△47,913	△99,449

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	653,413	552,173
売上原価	517,907	469,934
売上総利益	135,505	82,238
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	171,244	132,002
営業損失(△)	△35,738	△49,763
営業外収益		
受取利息	38	129
還付加算金	3,110	363
解約手数料等	56	1,037
未利用チケット収入	672	—
未払配当金除斥益	—	684
その他	43	130
営業外収益合計	3,919	2,345
営業外費用		
支払利息	729	54
為替差損	706	676
その他	487	0
営業外費用合計	1,922	730
経常損失(△)	△33,741	△48,148
特別利益		
貸倒引当金戻入額	789	—
特別利益合計	789	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,952	△48,148
法人税、住民税及び事業税	△4,403	90
法人税等還付税額	△377	—
法人税等調整額	3,175	7,640
法人税等合計	△1,606	7,730
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△55,878
少数株主損失(△)	△1,848	△119
四半期純損失(△)	△29,497	△55,758

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,481	△99,889
減価償却費	10,397	11,059
のれん償却額	26,134	263
子会社株式売却損益(△は益)	—	16,057
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	△3,180
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,287	△144
受注損失引当金の増減額(△は減少)	988	△7
投資有価証券評価損益(△は益)	1,649	1,529
受取利息及び受取配当金	△308	△339
支払利息	1,245	111
移転補償金	△82,551	—
固定資産除却損	5,731	—
売上債権の増減額(△は増加)	28,299	35,659
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,067	△2,811
仕入債務の増減額(△は減少)	22,897	△36,724
その他	△5,894	1,442
小計	△42,268	△76,266
移転補償金の受取額	82,551	—
利息及び配当金の受取額	308	300
利息の支払額	△1,244	△111
法人税等の支払額	△1,563	△165
法人税等の還付額	107,938	12,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,722	△63,343
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	—
定期預金の払戻による収入	2,502	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	600	180
有形固定資産の取得による支出	△34,780	△280
無形固定資産の取得による支出	△3,827	△23,549
敷金及び保証金の差入による支出	△61,679	△1,994
敷金及び保証金の回収による収入	37,597	15,289
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△49,466
その他	—	6,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,787	△53,821

アウンコンサルティング(株)(2459)  
平成23年5月期 第2四半期決算短信

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,498	—
リース債務の返済による支出	△259	△637
配当金の支払額	△23,153	△22,098
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66,911	△22,735
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>467</b>	<b>△5,537</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,490	△145,437
現金及び現金同等物の期首残高	947,114	858,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	955,605	713,324

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,158,709	129,571	1,288,281	—	1,288,281
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,206	4,306	12,512	(12,512)	—
計	1,166,916	133,877	1,300,793	(12,512)	1,288,281
営業損失(△)	△45,548	△59,538	△105,086	(259)	△104,826

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

SEM事業・・・SEO、P4P、その他

クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、グローバル・マーケティング・カンパニーとして英語・中国語・日本語など多言語によるマーケティング戦略全般を提供しており、「マーケティング事業」と「クリエイティブ事業」から構成されております。「マーケティング事業」では、SEMを主としたマーケティング分野のサービスを提供しております。「クリエイティブ事業」では、英語・中国語・日本語などの多言語におけるWeb制作に特化したサービスの提供を行ってまいりましたが、平成22年8月31日付で同事業を担ってまいりましたアウングローバルマーケティング株式会社の全株式を売却し連結対象外としました。したがって、当第2四半期連結会計期間より「マーケティング事業」のみの単一セグメントとなっております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	マーケティング事業	クリエイティブ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,178,093	58,961	1,237,055	—	1,237,055	—	1,237,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,630	3,704	6,335	—	6,335	6,335	—
計	1,180,724	62,666	1,243,390	—	1,243,390	6,335	1,237,055
セグメント損失	△78,871	△3,960	△82,831	—	△82,831	△14	△82,817

(注) 1. セグメント損失の調整額△14千円は、棚卸資産の調整額であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)

当第2四半期連結会計期間より、当社グループはマーケティング事業のみの単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

平成22年8月31日付でクリエイティブ事業を担っておりましたアウングローバルマーケティング株式会社の全株式を売却し連結対象外としたことにより、当第2四半期連結会計期間よりマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### 生産、受注及び販売の状況

##### (1) 生産実績

該当事項はありません。

##### (2) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
マーケティング事業	862,119	—
クリエイティブ事業	—	—
合計	862,119	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 クリエイティブ事業を担ってございましたアウングローバルマーケティング株式会社の全株式を売却したため、当第2四半期連結会計期間よりマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。

##### (3) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
マーケティング事業	—	—	—	—
クリエイティブ事業	63,547	—	—	—
合計	63,547	—	—	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 クリエイティブ事業を担ってございましたアウングローバルマーケティング株式会社の全株式を売却したため、当第2四半期連結会計期間よりマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。

##### (4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
マーケティング事業	1,178,093	—
クリエイティブ事業	58,961	—
合計	1,237,055	—

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 クリエイティブ事業を担ってございましたアウングローバルマーケティング株式会社の全株式を売却したため、当第2四半期連結会計期間よりマーケティング事業のみの単一セグメントとなっております。